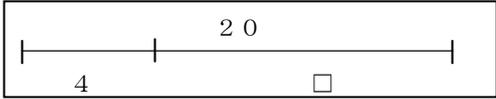
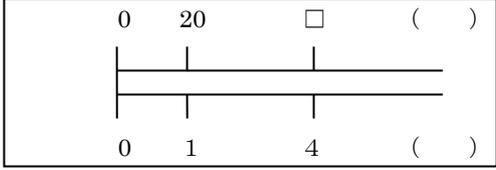
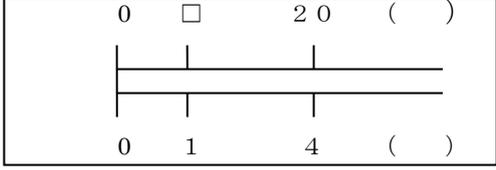


1 学年及び単元名 第3学年 「 □を使った式 」

2 問題

下の4つのお話に合う図を選び線でつなぎましょう。それぞれ□を使った式で表し、答えを求めましょう。

<p>① 1周□kmの公園があります。そこを4周走ったら、全部で20kmになりました。</p> <p>式</p> <p>答え</p>	
<p>② えんぴつが4本ありました。□本もらったのでえんぴつは全部で20本になりました。</p> <p>式</p> <p>答え</p>	
<p>③ あめが□こありました。4つのふくろに同じになるように分けると1ふくろにはあめが20こずつになりました。</p> <p>式</p> <p>答え</p>	
<p>④ 図書室で□人が本を読んでいた。4人教室に戻ったので、図書室で本を読んでいる子どもは20人になりました。</p> <p>式</p> <p>答え</p>	

3 ねらい及び活用のポイント

- ・□を使った式と図の学習を活用して問題を解決することをねらいとする。
- ・問題場面から、図の表し方を考え、式に表すことができる。
- ・それぞれの問題を図や式で表すと、加法、減法、乗法、除法の4パターンの式を立てることができる。

4 考え方

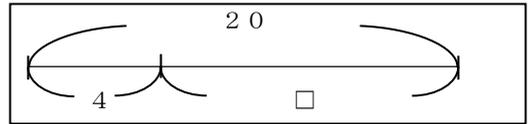
<p>①</p> <p>1周の長さ □ (km)</p> <p>周数 4 (周)</p> <p>式 $\square \times 4 = 20$</p> <p>答え <u>5 km</u></p>	<p>②</p> <p>えんぴつはぜんぶで20本</p> <p>もっていたえんぴつ 4本</p> <p>もらったえんぴつ □本</p> <p>式 $4 + \square = 20$</p> <p>答え <u>16本</u></p>
<p>③</p> <p>あめ 20 (こ)</p> <p>ふくろ 4 (ふくろ)</p> <p>式 $\square \div 4 = 20$</p> <p>答え <u>80こ</u></p>	<p>④</p> <p>図書室にいた子ども□人</p> <p>もどった子ども 4人</p> <p>図書室にいる子ども 20人</p> <p>式 $\square - 4 = 20$</p> <p>答え <u>24人</u></p>

問 題

□を使った式

下の4つのお話に合う図を選び線をつなぎましょう。それぞれ□を使った式に表し、答えを求めましょう。

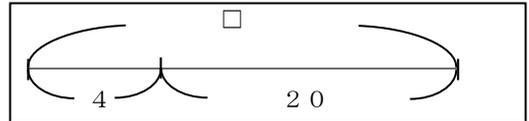
- ① 1周□kmの公園があります。そこを4周走ったら、全部で20kmになりました。



式

答え _____

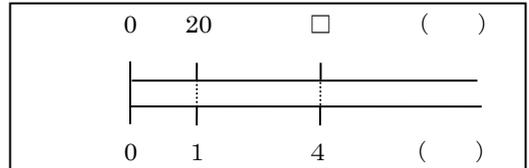
- ② えんぴつが4本ありました。□本もらったので、えんぴつは全部で20本になりました。



式

答え _____

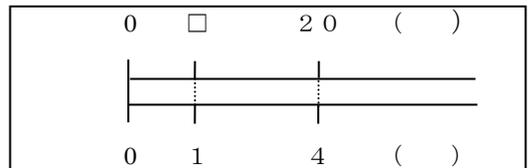
- ③ あめが□ありました。4つのふくろに同じになるように分けると1ふくろにはあめが20こずつになりました。



式

答え _____

- ④ 図書室で□人が本を読んでいた。4人教室に戻ったので、図書室で本を読んでいる子どもは20人になりました。



式

答え _____

